

2026年2月13日

各 位

会社名 株式会社テノ. ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 池内 比呂子
(コード番号: 7037 東証スタンダード・福証)
問合せ先 取締役管理本部長 岡田基司
(TEL. 092-263-3550)

2025年12月期業績予想と実績値の差異並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2025年12月期において、下記のとおり、2025年11月13日に公表した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」と本日発表いたしました実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。また、特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期の連結業績予想と実績の差異 (2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,150	百万円 575	百万円 545	百万円 265	円銭 58.00
実績値 (B)	18,129	631	604	110	24.08
増減額 (B-A)	△20	56	59	△154	
増減率 (%)	△0.1	9.8	10.9	△58.5	
(参考) 前期連結実績 (2024年12月期)	16,017	194	180	△466	△102.03

2. 差異の理由

2025年12月期の実績につきまして、当社連結子会社である株式会社ホームメイドクッキングにおけるのれん減損損失等の特別損失を200百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は110百万円となり、2025年11月13日に公表した業績予想を下回る結果となりました。

3. 特別損失の計上及びその内容

当社連結子会社である株式会社ホームメイドクッキングの株式取得に発生したのれんについて、将来計画を見直した結果、当初想定していた収益が見込めなくなったと判断したため、帳簿価格を回収可能価値まで減額し、当該減少額を減損損失 (のれん170百万円) として計上いたしました。なお、当該資産の回収可能額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローが見込めないことにより、零と評価しております。

また、料理教室について、営業損益の改善が見込めない施設について、帳簿価格を回収可能価値まで減額し、当該減少額を減損損失 (建物及び構築物27百万円、長期前払費用2百万円、その他0百万円) として特別損失に計上しております。なお、当該資産の回収可能額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローが見込めないことにより、零と評価しております。

(連結決算の特別損失 200 百万円の内訳)

内訳	金額
のれん減損損失	170 百万円
固定資産の減損損失	29 百万円
合計	200 百万円

4. その他

2025年12月期の業績の詳細につきましては、本日公表の「2025年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照くださいますようお願い申し上げます。

以上